

# 日常生活は節約、旅行は支出増と消費傾向はメリハリの様相

～第49回熊本の消費予報調査－2023年5月調査～

## はじめに

当研究所では、毎年5月と11月に熊本県内在住の女性を対象として、今後半年間における「収入」「支出」等の調査を行っている。本稿では2023年5月に実施した調査結果を基に、今後の消費マインドを明らかにする。

本調査では日常的な支出は抑え、非日常的な支出を増やすという、メリハリをつけた支出を行いたい消費者のマインドがみられた。物価高の影響を受け、食費や外出などの日常的な品目については、支出を減らしたいという意向がみられる。一方で、非日常的な支出、特に国内旅行については、コロナの5類移行の影響もあり、支出意欲は比較的高くなっている。

## 【調査の概要】

1. 調査対象：熊本県在住の20歳以上の女性  
(20代～60代以上の各年代で104人ずつ)
2. 調査期間：2023年5月18日(木)～5月20日(土)
3. 調査方法：調査会社登録モニターへのネット調査(調査会社：(株)マクロミル)
4. 有効回答：520人

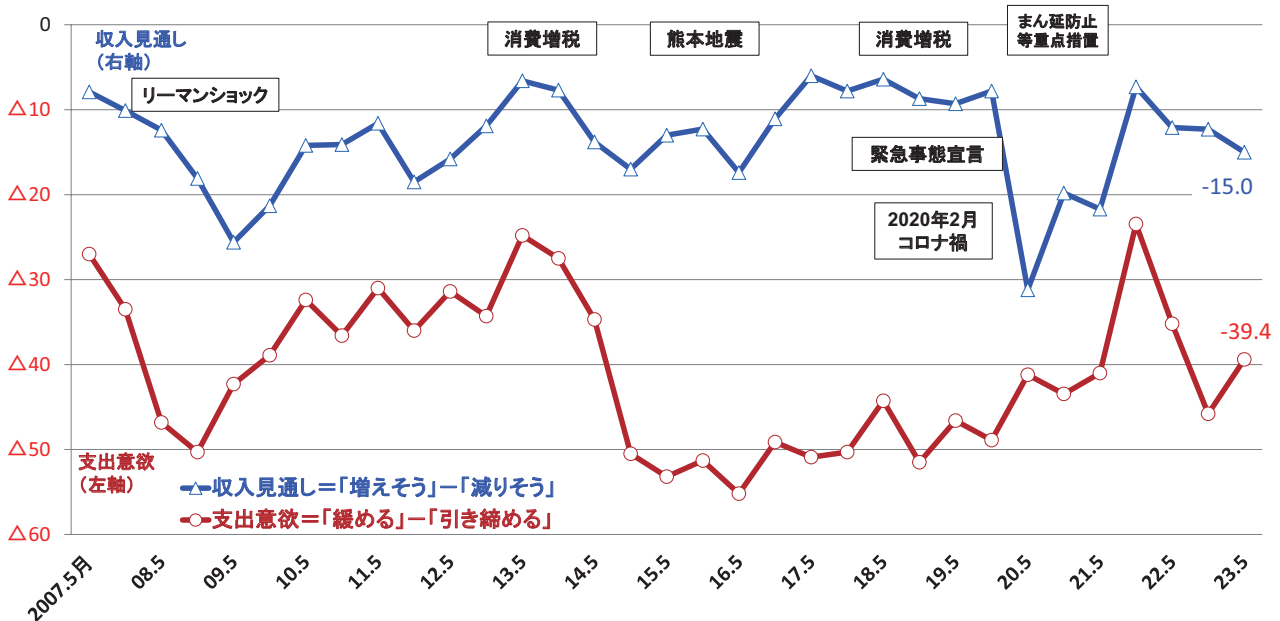
## 【回答者の属性】

年代	実数(人)	構成比(%)
20代	104	20.0
30代	104	20.0
40代	104	20.0
50代	104	20.0
60代以上	104	20.0
合計	520	100.0

図表1 今後の見通しDIの長期推移

(DI = 「プラス」回答の割合 - 「マイナス」回答の割合)

収入見通しDI (「増えそう」 - 「減りそう」) と支出意欲DI (「緩める」 - 「引き締める」)



# 1 具体的な項目ごとの支出の見通し

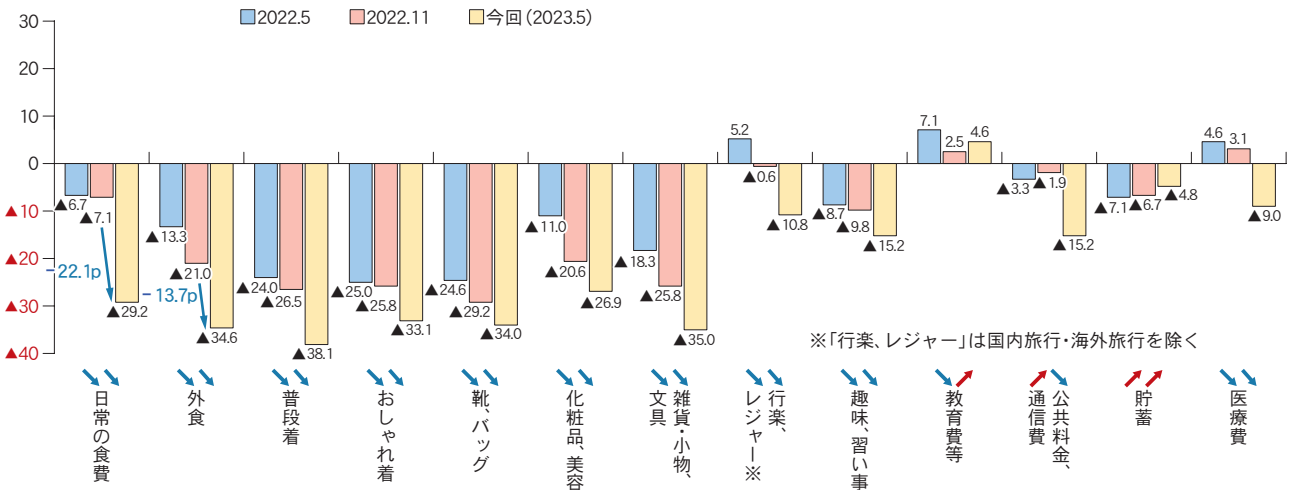
## (1) 日常的な支出の見通し

- 物価高を反映し、支出を抑制したい意識がみられる。
- 特に、「日常の食費」は前回比-22.1pと減少幅が大きい。

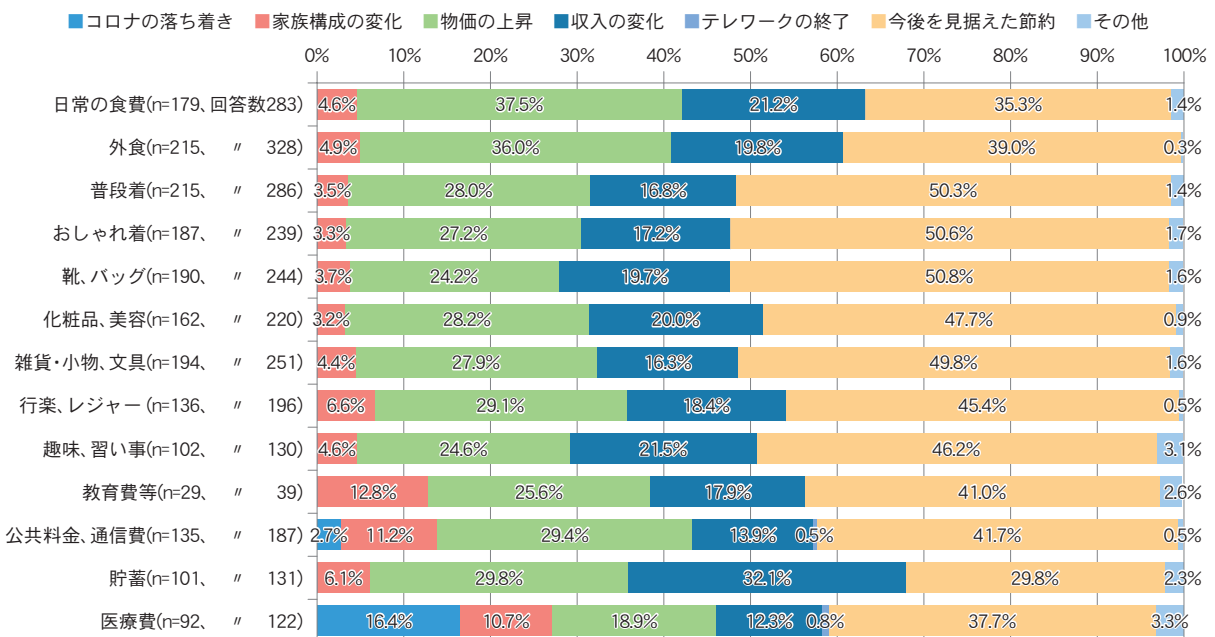
大半の項目で、支出見通しのDIは悪化した（図表2）。特に「日常の食費」は▲29.2と前回（▲7.1）から-22.1ポイント（以下p）と減少幅が大きくなっている。物価高を受け、支出を減らしたいという節約意識の表れと思われる。一方、物価高により支出を増やさざるを得ないという意見も一部みられた。

支出を減らす理由をみると、「物価の上昇」と「今後を見据えた節約」が占める割合が高くなっている（図表3）。「物価上昇」の影響が大きいのは、「日常の食費（37.5%）」や「外食（36.0%）」。また、「今後を見据えた節約」では「靴、バッグ（50.8%）」、「おしゃれ着（50.6%）」、「普段着（50.3%）」などが挙げられる。

図表2 日常的な支出の今後の見通しDI（「増やす・増えそう」）－（「減らす・減りそう」）



図表3 日常的な支出を減らす理由（複数回答）



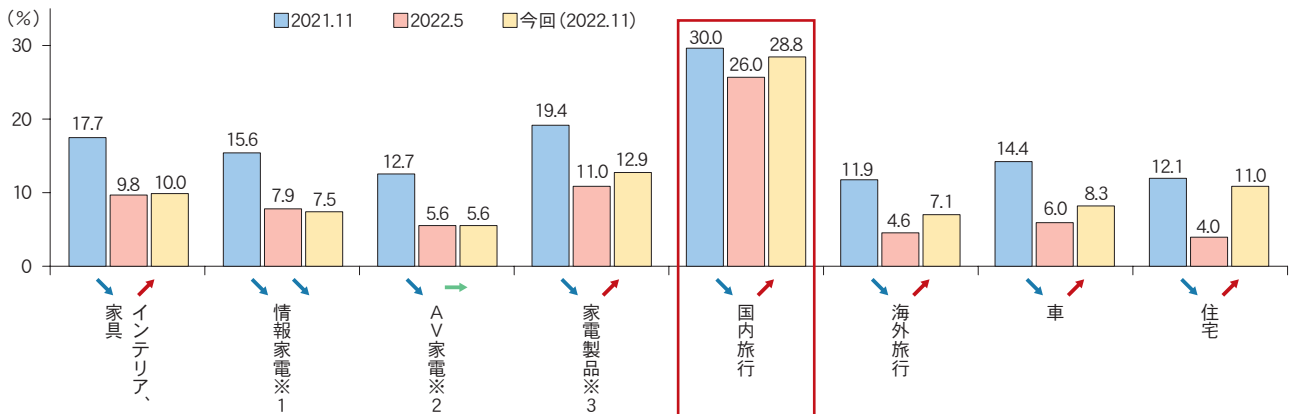
## (2) 非日常的な支出の見通し

- 国内旅行の意欲は高水準で推移。
- 旅行先としては、熊本県内や九州の割合が縮小し、首都圏や中部、北海道、沖縄といった遠方への旅行が増加した。

非日常的な支出の見通しについては、車や住宅（新築、増改築）、旅行といった高額商品の購入意欲が高まっている（図表4）。特に国内旅行は、相対的に高水準で推移していることが分かる。そこで今回は、国内旅行について詳しく見ていきたい。

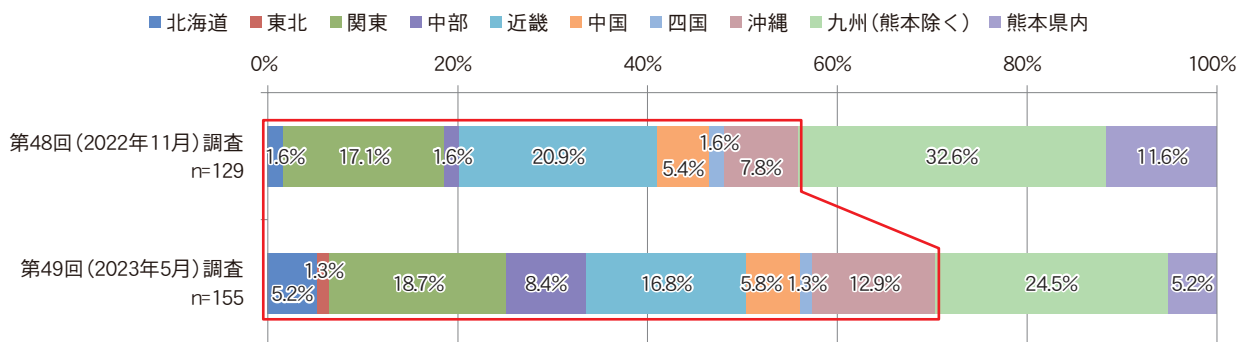
第48回（2022年11月）調査では、熊本県内および九州といった近場が旅行先として選ばれており、4割超占めていた（図表5）。しかし、今回調査では、特に熊本県内や九州の割合が縮小し、首都圏や中部、北海道、沖縄といった遠方への旅行が増加する結果となった。

図表4 高額商品等の今後の購入予定



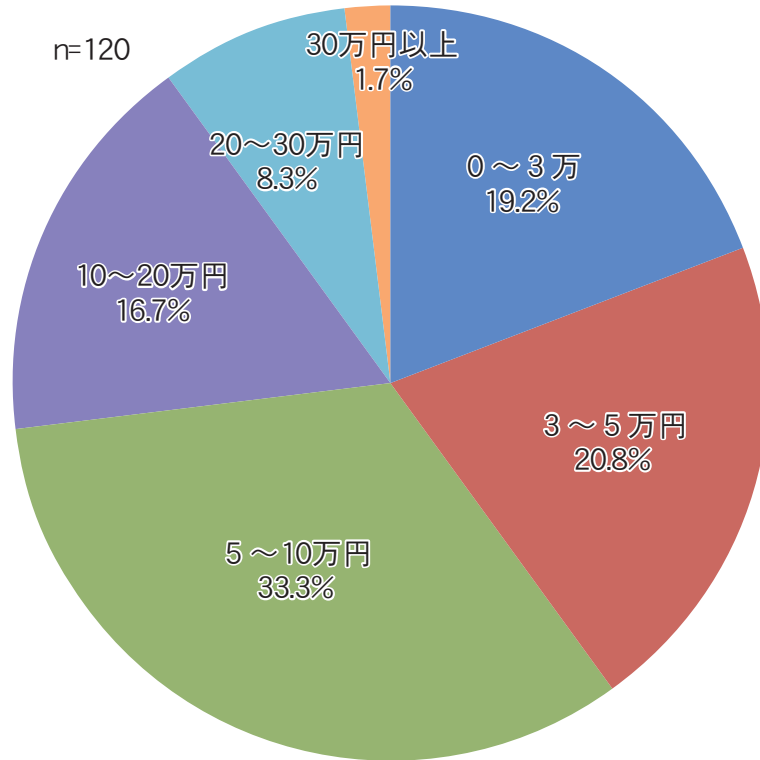
※1 情報家電とは、パソコン、パソコン関連機器、携帯電話（スマートフォン）など。  
 ※2 AV家電とは、テレビ、ブルーレイレコーダー、デジタルカメラ、ビデオカメラなど。  
 ※3 家電製品とは、冷蔵庫、洗濯機、食洗機、エアコンなど、情報家電とAV家電以外の電気製品。

図表5 旅行先（国内）の変化



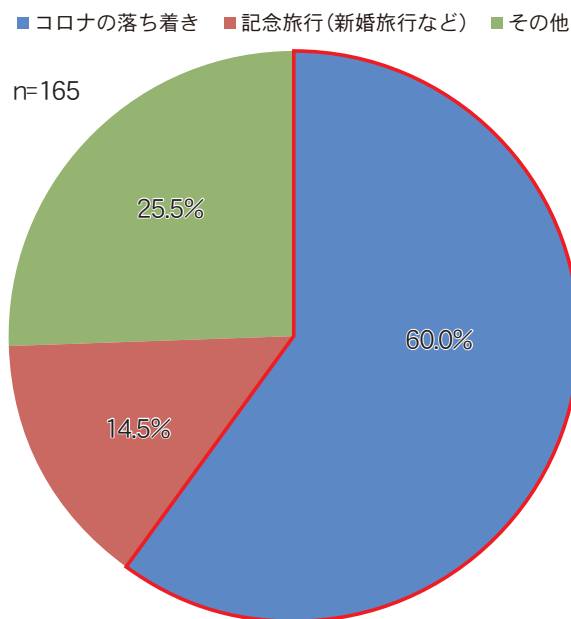
次に、国内旅行の予算をみると、「5～10万円」が33.3%で最多を占めるが、10万円以上も26.7%と一定の割合を占めていることが分かる（図表6）。コロナの感染症法上の取扱いが5類へと変わったことで遠方への旅行がしやすくなったことや、リベンジ消費が要因ではないかと考える。

図表6 国内旅行の予算内訳



実際に、旅行を計画している理由で最も回答が多かったのは、「コロナの落ち着いた」の60.0%である（図表7）。その他、旅行を計画している理由では、「イベントがあるから」、「スポーツ観戦」のため、「家族旅行」のため、などの自由コメントがみられた。これまでコロナ禍で控えられていた家族旅行や趣味の旅行などが、活発化し始めていると言えそうだ。

図表7 旅行を計画している理由



【参考】自由コメント

年代	理由
20代	イベントがあるから
	年に一回の友人との集まり 旅行が趣味のため
30代	子供が生まれたから
	子どもたちの思い出づくり 社員旅行
40代	ライブ
	娯楽のため 子どもが夏休みだから
50代	恒例の旅行
	スポーツ観戦 友人に会いに
60代以上	子供に会う為
	行きたいイベントが増えたから 家族旅行

## 2 全体及び年齢別の見通し

### (1) 支出意欲の見通し

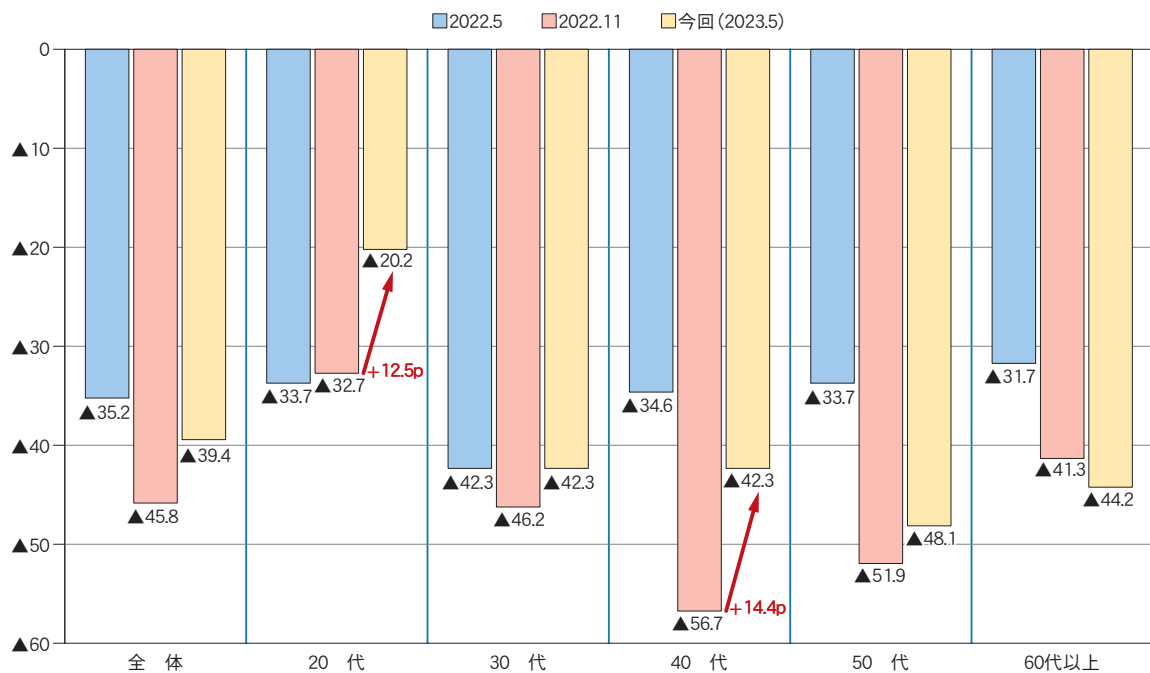
- 今後半年間の支出意欲は▲39.4と、前回（▲45.8）から6.4p改善。
- 特に、20代と40代の上昇幅が大きくなっている。

今後半年間の支出意欲の見通しは▲39.4と前回（▲45.8）から+6.4p（図表8）。特に、40代（▲42.3）で前回（▲56.7）からの上昇幅が+14.4pと最大で、20代が+12.5pと続く。60代以上は唯一、前々回から連続で見通しDIが悪化。定年退職を迎える等、現役世代と比べ収入面での不安が大きい世代に、物価上昇により支出意欲が低下したものと考えられる。

「緩める」「少し緩める」の自由コメントでは、旅行や外出などリベンジ消費による支出増や、物価上昇に伴う支出増などのコメントがみられた。

一方、「引き締める」、「少し引き締める」の自由コメントには全世代で、「物価上昇への不安」がみられ、節約が意識されているものと思われる。

図表8 支出意欲の見通しDI（「緩める」+「少し緩める」）－（「引き締める」+「少し引き締める」）



支出意欲の見通し	年代	コメント
緩める	20代	子育てにお金がかかるから
少し緩める	30代	物価や光熱費、ガソリン代が上がっているから
	40代	旅行や外出に行きたいから
	60代以上	今まで行けなかった旅行などに行きたいから
少し引き締める	20代	物価高騰により、節約を意識したいから
	50代	将来のために貯蓄を増やす
	60代以上	物価が上がる分、節約したい
引き締める	30代	物価高で家計が苦しいから
	40代	車を購入したいから
	50代	教育費がかかるので

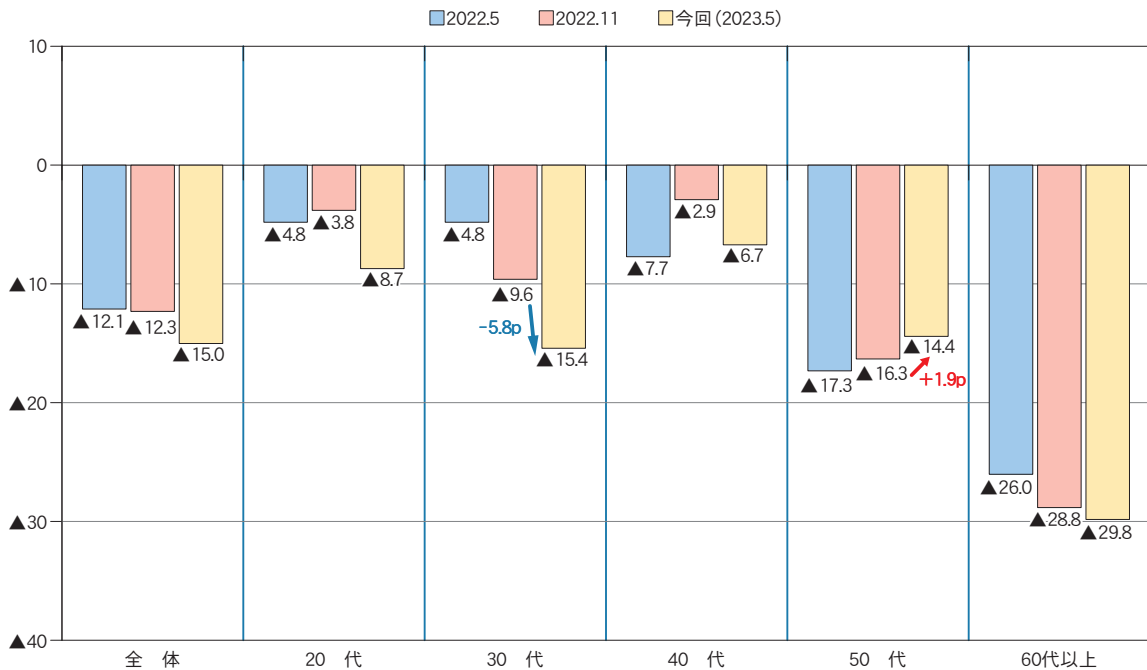
(2)収入見通し

- 今後半年間の収入見通しは▲15.0と、前回と比べて2.7p低下。
- 今春の賃上げの影響は見られず、20～40代を中心に収入見通しは悪化。

今後半年間の収入見通しは、▲15.0と前回（▲12.3）に比べ-2.7p（図表9）。全年代でマイナス域という結果となり、30代は▲15.4と前回（▲9.6p）からの減少幅が最大。50代は▲14.4と前回（▲16.3）から+1.9pと唯一改善した。今春の賃上げの効果は、本調査の回答者にはあまり届いていないようだ。

収入の見通しが「減りそう」な理由としては、「残業時間が削減されそう」や「産休、育休に入るため」といったコメントがみられた。

図表9 収入の見通しDI（「増えそう」）-（「減りそう」）



収入見通し	年代	コメント
増えそう	20代	賃金が上がると思うから
	30代	給料が上がったので
	40代	夫の会社でベースアップが実施されたため
	50代	賃金がアップしたから
減りそう	20代	残業時間が削減されそうだから
	30代	産休、育休に入るため
	50代	配偶者が60才になり、再雇用となったため
	60代以上	配偶者定年のため